

みなさんこんにちは。今月は高橋が担当します。今年度の私の目標は1ヶ月に1回は勉強会や研修会に参加して日々の患者さんの診療に生かす事です。今のところ、4月、5月は目標を達成できました。5月16日に日本ホスピス緩和ケア協会関東甲信越支部総会・大会(名前が長いですね)で拝聴した、小澤竹俊先生のご講演についてご紹介したいと思います。今回は「がん教育」についてがテーマでしたが、個人的に心に残った内容について2点お伝えします。

～相手意識～

ある患者さんと病院スタッフが近くの桜の開花を見ている場面を想像して下さい。患者さん「桜がきれいだな」、スタッフ「きれいですね、うれしいですね」。一見の何の違和感もない普段の会話のやりとりに見えます。この会話のあとの患者さんの心の内は「来年の桜はもうみれない、悲しいなあ」。同じ物を見て同じような感情を持っている事も、もちろんありますが、実は心の中では涙を流しているかもしれない。うれしそうにしながら実は寂しいかもしれない。相手の言葉を大切に受け取ること、相手の気持ちを想像する。診療の場面ではもちろんですが、日々の生活の中でも『相手意識』を忘れないでいきたいと思います。

～それでいいのだということ～ 『Very Good』ではなく『Good Enough』を目指す

自分が置かれている状況がどうにもならずつらい時、そんな時『それでいい』と思えること。長くなりそうなので、また次の機会に・・・

緩和ケア私の仕事

緩和ケアと記念日

緩和ケア病棟入院中にお誕生日を迎える患者様、多いなと感じています。お誕生日が近くなると病棟の看護師達から、「〇〇さん、〇日がお誕生日だよ」と自然と相談が始まります。お誕生日当日、看護師達がサプライズで患者様のベッドを囲み、おめでとうの気持ちを伝えます。お誕生日だけでなく、家族の記念日を迎えた時など、察知した看護師達がお部屋に伺って一緒にお祝いをしています。みんなの愛情が込められている、心温まるひとときです。人生の大切な記念日と一緒に祝いできることは、私達とっても嬉しい瞬間です。



緩和ケア・テラス新聞 ⑪

埼玉協同病院東5病棟

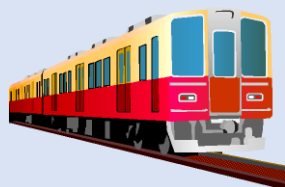
2026年5月号



緩和ケア何でもアンケート

スタッフの行ってみたい都道府県

- 北海道 6 青森 5 和歌山 4 沖縄 4
- 長崎 2 三重 2 高知 2 島根 1
- 鹿児島 1 岐阜 1 愛媛 1 広島 1
- 富山 1 石川 1 京都 1 香川 1
- 福岡 1



紫陽花やレースフラワーが見頃をむかえています



きゅうり、トマト、ピーマン、ナスも生育中

埼玉協同病院東5階緩和ケア病棟のホームページはこちらからもご覧になれます。



今後のイベント予定

・6/30

あじさいコンサート